

## マンションコミュニティの礎 藤和ライブタウン百合ヶ丘II コミュニティカフェ



#南生田2丁目24-1  
#低層マンション #管理組合  
#コミュニティカフェ #公園体操  
#公園緑地愛護会

お悩み

### マンション内に知り合いがいない状態で 災害など有事の際にどうするのか

すべての住民活動はカフェから始まった

**経緯**▶ 当マンションでコミュニティカフェを実施する石鍋さんと今井田さん。立ち上げのきっかけは石鍋さんが抱いた『住民のつながりの希薄さ』。自治会がなく、所有者全員が加入する管理組合の役割は『財産管理』のみ。住民の互助活動はありませんでした。そこでマンション内の知人4人に声をかけ、集会室を会場に住民相互の交流を目的としたカフェを始めたのが平成30(2018)年3月のこと。月1回の開催にあたり管理組合からの資金援助はなく、スタッフ1人1,000円の出資で運営していたそう。しかし、趣向を凝らした企画が話題を呼び、住民に浸透するにつれて自治意識も高まり、ついには規約の改正が実現。カフェは新設された『環境委員会』傘下として管理組合の資金で運営されることになりました。この変遷を振り返ったある住民が「すべての住民活動はカフェから始まった」とつぶやいたそう。後ろ盾のない有志の活動がコミュニティの礎を作ったのです。



左から今井田さん/石鍋さん

若い頃は心地よかった“孤独”  
いまは“つながり”が自身を豊かに

**想い**▶ 「若い頃は人と関わらないのが気軽でよかった。でも、人とつながることは私に豊かな世界を与えてくれた」と石鍋さん。カフェはコロナ禍による一時中断を経て、再開後は隔月で無理なく開催。「スタッフがみんな自立していて、お互いの信頼を維持できたからこそここまで続けてこられた」と今井田さん。「ひとりじゃできないなら誰かを引っ張り込んで“相棒”をつくるのがいい」と話す二人は、今日もお互いを信頼して楽しい企画を考えていることでしょう。

### point

1 マンション外の住民も参加可能！  
背景に建築当時のある取り決めが  
隣接する東百合丘一丁目の戸建て住民にもカフェを案内しており実際にマンション外からの参加者も。建築当時の『集会室を周辺住民も利用可能とする』という周辺住民との取り決めが背景に。意図せずマンション外の方と交流できる土壌が育まれていたのです。

2 近くにないなら作ればいい！  
南生田2丁目公園体操の立ち上げ  
今井田さんが別の公園で体験して、「レトロな感じがクセになった」公園体操。隣接する公園で公園緑地愛護会※1が立ち上げられるのにあわせて区役所の地区担当保健師※2に相談して、令和6(2024)年4月には立ち上げにこぎつけました。

### info

※1 詳しくは“多摩区役所  
道路公園センター”へ  
☎044-946-0044  
※2 “公園体操”のことは  
“多摩区役所地域支援課”へ  
☎044-935-3294

発行年月 令和8(2026)年4月

発行元 多摩区役所地域ケア推進課